

令和 7 年 2 月 20 日

教育長職務代理者答弁実録

（教育委員会）

（問）学校教育における A I の活用について

教育現場における、A I の活用と人が教える教育の役割について、どのように考えているのか、教育長に伺う。

また、A I の活用の推進と自ら考える力の育成をどのように両立させて進めていくのか、また、A I 活用の課題に対して、どのように対処し補完していくのか、併せて教育長に伺う。

（答）

生成 A I などデジタル技術が飛躍的に発展する中におきましては、デジタル技術を使いこなしていく力とともに、デジタル技術を活用しながら、人との関わりや体験を通じて自ら考える力を育成していくことが重要であり、「デジタルの力でリアルな学びを支える」との基本的な考え方に立って、バランス感覚を持って教育活動に取り組む必要があると認識しております。

このため、生成 A I などデジタル技術の効果的な活用を通じて、個別の知識を得るだけでなく、知識を活用して課題解決を図るとともに、体験活動や探究的な学習などを通じて実社会やキャリアとのつながりを意識し、自ら考える力を身に付けていくことができるよう、引き続き、授業改善を進めてまいります。

一方、生成 A I を利活用する上での課題といたしましては、例えば、生成 A I により表示される内容には、考え方などに偏りのある可能性があることや、事実や現実の事象とは異なる情報が作り出されてしまうことなどがございます。

こうしたことから、学校での利活用に当たりましては、昨年 12 月に新たに公表された文部科学省のガイドラインなどを踏まえ、生成 A I により表示される内容を常に慎重に判断し、正確性・事実関係の確認を行うよう指導するなど、批判的に考察する力の育成を図ってまいります。

県教育委員会といたしましては、生成 A I の利活用に当たり、こうした課題も踏まえ、引き続き、教職員研修などを通じて活用事例を周知するとともに、大学や企業などの関係機関と連携・協力しながら、児童生徒の情報活用能力の育成に向けた更なる取組の充実に努めてまいります。